

平成21年度各賞受賞候補者の推薦について

下記により平成21年度佐々木賞、田中亀久人賞、溶接学会業績賞、溶接学会技術貢献賞の各受賞候補者を募集いたしますので、適格者がございましたら、所定の推薦書（本会HPまたは事務局より入手下さい）によりご推薦くださるようお願いいたします。

項目	溶接学会論文賞・溶接学会論文奨励賞	佐々木賞	田中亀久人賞	溶接学会業績賞	溶接学会技術貢献賞
授賞対象	平成21年1月から12月までの期間中に溶接学会論文集に掲載されたすべての論文が審査対象となりますので、推薦は不要。	多年にわたり溶接技術の開発または応用・普及に関与し、その業績顕著なもの及び溶接技術について後進の教育指導、育成の業績顕著なもの。	ガス炎を利用した溶接・切断、工作等及び溶接技術全般に関し研究開発並びに実用化についてその業績顕著なもの。	溶接の学術に関する各部門において優秀な業績を挙げたもの。	溶接技術の開発または応用普及に中核的な役割を果たし、その業績顕著な者及び溶接技術について若手技術者への教育・指導・育成の業績顕著なもの。
候補者資格	本会会員	本会会員	本会会員に限らない		
推薦者資格	-	本会会員			
推薦手続	-	次の事項を記載した文書（所定の書式）6部（1部正、他はコピーでよい）を学会長宛に提出する。 イ、候補者の氏名、職業又は勤務先及び勤務先における役職名 ロ、候補者の略歴 ハ、賞を受けんとする業績の詳細（裏付けとなる資料を添付） ニ、推薦者の氏名及び連絡先 溶接学会業績賞については、賞を受けんとする該当分野とそこでの学術に関する業績の詳細及び該当分野に関する論文リストを添付する。溶接学会技術貢献賞については、賞を受けんとする業績の詳細を添付する。			
推薦書提出期限	-	平成21年12月31日			
授賞年月日	平成22年4月21日（第78回通常総会）				
その他	-	多年にわたる業績をお考えください。年令に制限はありませんが、溶接に通常15年以上関与したことを原則とします。またその業績には公的な活動が含まれていることが望ましい。業績については詳細に述べ、十分な裏付け資料を添付するようにしてください。	佐々木賞が、多年にわたる業績(功労)を対象とするのに対し、本賞はある時期に示された優れた業績を対象とします。特許資料、公刊誌への発表・紹介など、業績を裏付けるための十分な資料を添付してください。	第1部門：溶接・接合、熱加工プロセス及び機器 第2部門：制御、システムの工学・技術及び組立実装技術 第3部門：材料及び溶接・接合性 第4部門：材料・製品の強度・破壊と設計 第5部門：施工・管理及び品質保証・品質管理 第6部門：新領域・境界技術	佐々木賞と同様、開発ならびに技術普及・教育等の活動を含めて複数の業績があり、年齢は45才以下であることを原則とします。非会員も推薦可としますが、受賞時には入会していただきます。業績については詳細に述べ、十分な裏付け資料を添付するようにして下さい。

平成 22 年度会員会費の口座引落日のお知らせ

及び会費自動振替制度ご利用のお願い (郵便局口座のご利用も可能になりました)

本会では事務の省力化のため、金融機関預金口座振替システムを利用した「会費自動振替制度」を実施しております。現在この制度を利用されている会員は個人会員（学生員、正員）の 30% です。より多くの会員のご利用をお願いいたします。会員会費の納入方法を口座引落しされている方の平成 22 年度会費の口座引落日及び会費は次のとおりです。ご準備くださいますようお願いいたします。

口座引落日：平成 21 年 12 月 24 日（木）

平成 22 年度正員会費	10,000 円
平成 22 年度学生員会費	5,000 円
平成 22 年度賛助員会費	40,000 円×口数

今回、未納会費のある方は、平成 22 年度会費とあわせて引き落としさせていただきます。

引き落としされますと通帳に「MFS (ヨウセツカイヒ)」（個人会員の会費の略）と記入されます（お取引金融機関により多少異なる場合もあります）。

領収書は経費節減のため発行いたしません。発行を希望される方は、引落とし事務終了後領収書を送付いたしますので、事務局までお申し出ください。

口座引落としについての問い合わせ先：会員係

TEL 03 (3253) 0488

引落口座の変更等は 10 月末日までにご連絡下さい。

平成 22 年度春季全国大会シンポジウム基調講演の募集について

本会では、毎年、春季講演大会において、溶接・接合工学に関する特定の課題について、シンポジウムを開催しています。来る平成 22 年度春季全国大会においては、下記の主題の下、シンポジウムを開催いたします。

シンポジウムをより実りのあるものとするため、基調講演を広く募集いたします。

会員各位におかれましては、奮ってご応募下さいますようお願い申し上げます。

1. 主 題：見る・知る・使うー溶接の最新計測技術ー

2. 座 長：中村照美（物質・材料研究機構）

趣 旨：観察は、溶接プロセスで生じる現象を理解し、溶接後の状態を把握する第一歩である。計測はその重要な一つの手段とも言えるが、最近のデジタル化技術の進展により、計測機器の進歩には目を見張るものがある。計測機器の進歩は、当然ながら、それを取り入れた計測技術を高度化し、今まで空間的に点の情報であったものが面の情報となり、面の情報であったものが立体の情報となり、一方、時間軸においては大幅に高分解能の情報となっており、従来では、観察できなかった現象を可視化し、また、発見できなかった現象を新たに見出す機会を我々に与えてくれる。

本シンポジウムでは、これまで直接目で見ることができなかった「溶接中の凝固・相変態過程のその場観察技術」の確立に対して平成 21 年度文部科学大臣表彰を受賞された大阪大学の小溝裕一教授を基調講演に迎えて、プロセス、材料、力学、品質・施工管理の 4 つの視点か

ら溶接に関わる最新の計測技術を取り上げ、現在の計測技術によって、何をどこまで見ることが可能となり、それによって何を知ることができ、それをどのように使うのか、について検証するとともに、計測がもたらす溶接の科学と技術の未来について議論したい。

3. 日 時：平成 22 年 4 月 20 日（火）14:00～17:00

4. 場 所：東京ビッグサイト

5. 基調講演申し込み方法

任意の用紙にタイトル、著者、アブストラクト、連絡先をご記入の上、学会事務局に提出下さい。

6. 申し込み締め切り日：平成 21 年 11 月 13 日（金）

7. 講演採否

申し込みいただいた講演は、採否決定次第、お知らせいたします。

8. 前刷原稿提出期日：平成 22 年 2 月 23 日（火）

採択された講演は、講演概要 86 集に前刷りを掲載いたしますので、所定のオフセット原稿用紙 6 枚以内（表、図、写真を含む）の原稿を作成し、ご提出下さい。なお、講演時間は 1 件 20～25 分程度を予定しています。

9. 討論・質問の申し込み

講演前刷りをご覧いただいたうえで、討論および質問を募集いたします。積極的に参加いただくことを期待します。

討論・質問の希望者は、対象講演と質問内容を簡潔に記載し、平成 22 年 3 月 19 日（金）までに、学会事務局あて、ご提出下さい。

WEB掲載の溶接学会論文集27巻(平成21年度)の印刷物の購入について

溶接学会論文集は、平成19年1月より印刷物での発刊に代わってホームページ上にてWEB版として発刊されております。

印刷物にて一年分を纏めたものを購入される会員各位は、会員特価にて下記により、平成21年11月末日までにお申込み下さいますようお願いいたします。

溶接学会論文集 27巻 (平成21年度)

価 格：溶接学会会員特価 7,500円/年1冊 (税込)

送 料：500円 (税込)

発行時期：平成22年1月下旬

送 付 先：学会誌発送登録先

【申込先】

申込時に「会員番号」「お名前(会員名)」「冊数」「ご連絡先」をご明記の上、FAXにてお申込み下さい。折り返し、請求書をお送りいたします。

社団法人溶接学会 事務局 会員係 宛

F A X：03-3253-3059

申込締切：平成21年11月30日

入金締切：平成21年12月31日

尚、入金締切日までにご納入がない場合ご注文はキャンセルとさせていただきます。

上記以外でご購入を希望される方は、日本印刷出版株式会社 (TEL 06-6441-0075 FAX 06-6443-5815) へ直接ご注文下さい。 定価 15,000円/冊 税込・送料別

会員以外の方の申込締切：平成22年3月31日